

文化施設(博物館等)運営状況調査 (令和6年度実績)

目次

施設運営基本情報について

- 1 県内施設の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 入館者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 休館日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 4 施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について・・・・2
- 5 県の文化芸術振興施策に対する意見、他の文化施設と意見交換したい事項等・・・2

千葉県文化芸術推進基本計画の施策の柱に基づく実施状況について

- 1 【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり・・・・3
- 2 【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり・・・・7
- 3 【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり・・・・11
- 4 【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり・・・・15
- 5 【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信・・・・21

※調査対象47施設(うち回答があった39施設について集計)

施設運営基本情報について

1. 県内施設の種別

県内施設の種別

全体	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計
	2	8	5	0	21	1	2	39

(エリア別内訳)

ベイ	2	1	3	0	7	0	1	14
東葛飾	0	1	1	0	4	0	0	6
北総	0	3	0	0	6	0	0	9
九十九里	0	1	1	0	0	0	1	3
南房総	0	1	0	0	1	1	0	3
かずさ・臨海	0	1	0	0	3	0	0	4

全体に対するエリア別施設数割合(%)

35.9
15.4
23.1
7.7
7.7
10.3

2. 入館者数について

総回答者数 39

令和6年度の入館者数(概算含む)

①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
2,902,546	1,148,981

※伝統文化とは、伝統芸能、郷土芸能、地域固有の文化。また、生活文化、国民娯楽、文化財等、歴史的又は文化的景観のうち伝統的なものを指す。

(参考: 前回との比較) 総回答者数:41	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和5年度	2,750,942	869,666

(エリア別内訳)

ベイ	860,767	507,340
東葛飾	293,201	206,810
北総	639,404	287,545
九十九里	43,625	41,850
南房総	1,005,432	67,432
かずさ・臨海	60,117	38,004

全体に対するエリア別入館者総数割合(%)

29.7
10.1
22.0
1.5
34.6
2.1

(エリア別内訳)

ベイ	885,883	327,733
東葛飾	268,083	131,643
北総	517,618	268,067
九十九里	38,328	37,293
南房総	984,503	54,503
かずさ・臨海	56,527	50,427

全体に対するエリア別入館者総数割合(%)

32.2
9.7
18.8
1.4
35.8
2.1

3 休館日について

総回答者数 39

(1)休館日について教えてください(年末年始等の休館は除く。)

全体	日	月	火	水	木	金	土
	5	32	2	1	0	0	1

(内訳)

a.毎週	4	32	2	0	0	0	0
b.隔週	0	0	0	0	0	0	0
c.その他(月1回等)	1	0	0	1	0	0	1

(2)休館日を変更する予定の有無等について

①変更予定	(件数)	②変更の内容(抜粋)	③変更の予定時期(抜粋)
有	5	大学の長期休業中は、土日休館に変更 夏期休館、冬季休館を設けている	8・9月、2・3月 (夏期)6/30～9/2、(冬季)12/8～2/3
無	33		

(3)利用者から休館日について要望の有無等について

①要望の有無	(件数)	②要望の内容	③要望への対応予定
有	1	休館日に開館してほしい	現時点では休館日の変更予定なし
無	36		

4 令施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について

総回答者数 31

(1)新型コロナウイルスの影響による休館の有無等

①休館の有無	(件数)	②休館日数	③休館時期	
有	0	日	月から	月まで
無	39			

(2)中止となった事業について(次年度への延期も含む)。

①事業の有無	(件数)	②中止となった事業の件数
有	1	1 件
無	38	

(3)事業形態の変更や規模を縮小した事業について

①事業の有無	(件数)	②変更となった事業の件数
有	0	0 件
無	38	

(4)実施時期を延期した事業について

①事業の有無	(件数)	②延期となった事業の件数
有	0	0 件
無	37	

5 県の文化芸術振興施策に対する意見や、他の文化施設と意見交換したい事項等(抜粋)

①意見等
※意見無し

【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、
障害の有無や年齢に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	17	44.7
実施していない	21	55.3
計(B)	38	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	5	29.4
東葛飾	1	5.9
北総	5	29.4
九十九里	2	11.8
南房総	2	11.8
かずさ・臨海	2	11.8

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	5	29.4
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	5.9
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	2	11.8
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	5.9
f. 作品の公募・展示	5	29.4
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	3	17.6

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	10	2	3	0	0	1	2	26

【h. その他】の概要(抜粋)

・英語での対応

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	5	10	7	5	3	5	1	3	39

【h. その他】の概要(抜粋)

事業の実施を検討していない

【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、
障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	開館50周年記念特別展 「浅井忠 あちこちに行くー結ばれる人、つながる時代ー」	f.作品の公募・展示	千葉県ゆかりの近代洋画の先駆者、浅井忠の県立美術館が所蔵する作品と「巴里日記」など浅井が残したテキスト等を紹介し、作品と作者の人物像に焦点を当てた。		2024	2024	浅井忠の県美所蔵の作品とともに日記、絵葉書、書簡等を展示することで、その多岐にわたる活動に隠された、知られざる人物像に迫ることができた。	令和7年度は本展覧会は予定されていない
		開館50周年記念 千葉県立美術館100選	f.作品の公募・展示	開館50周年を記念して、美術館の所蔵作品の中から学芸員が選んだイチオン作品100点の解説付き作品集を刊行した。これを記念して作品集で紹介した作品を一挙に紹介した。		2024	2024	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の6部門の収蔵作品中から学芸員の選んだ100点を紹介した。コレクションをより親しみやすく感じられるよう100点の中からお気に入りの1点を投票する常設ワークショップも開催し、好評だった。	令和7年度は本展覧会は予定されていない
	千葉県立中央博物館	万祝博覧会ー海をまとうー	a.イベント(不特定多数が参加)	江戸時代後期の房総半島で発祥したといわれる「万祝」を様々な視点から取り上げ、漁師の文化だけではなく、デザインや染色技術、伝統工芸と地域文化の継承など、海とともに生きる房総の人々の文化・歴史の魅力を紹介した。	県立中央図書館、白浜海洋美術館 ほか	2024	2024	万祝のほか類似する他県の大漁祝着も展示したことで、万祝のデザインの魅力や地域による多様性、歴史を発信できた。県内で万祝を作る染物職人によるワークショップを開催し、その技法について深く学べる機会も提供できた。	期間展示のため、令和7年度は予定なし。
	千葉県立現代産業科学館	クリスマスコンサート	d.舞台公演・コンサート	明治高校OBによるマンドリン・ギター等を主楽器としたクリスマスコンサートで、エントランス広場を開催場所とし、誰でも気軽に参加することができる。エントランス広場を開催場所とし、誰でも気軽に参加することができる。季節感を演出するため、クリスマスにちなんだ曲目を演奏者がセレクトし、約45分の演奏時間で開催する。ファミリー層をターゲットに、あらゆる人々が参加し楽しめる環境の創出としてミュージックコンサートを開催している。	館主催	2005		子供から年配者まで幅広い年代が鑑賞を希望し、開始前から席が埋まったため、急遽、席を追加した。演奏の合間の楽器(マンドリン)の説明も、とても好評であった。	12月14日に実施を予定している。昨年同様、希望者が多いことが予想されるため、席数を多く準備し、スムーズな案内ができるようにする。
	和洋女子大学文化資料館	令和6年度 企画展「シゴトギの美」	j.その他	本展示では、旧服装文化史研究室(和洋女子大学名誉教授 大塚綸子研究室)が、研究のために収集した“シゴトギ”の一部を展示。		2024	2024	近年、仕事着やボロへの注目が集まったことで、学外からも多くの来館者を迎えることが出来た。	引き続き、収蔵資料の台帳作成ならびにデータベース化への取り組みを行う。 また、本学同窓会 むら竹会とも協力し、収蔵資料の調査を開始予定である。
	千葉県経済大学地域経済博物館	古文書相談室(全1回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	古文書の読み方についてごく初歩から学習することで、参加者に歴史資料のもつ魅力を身近に感じてもらい、より深く知る機会としてもらう。令和6年度は幕末房総の総覧・真忠組騒動に関する史料をテキストにして実施した。		2012		アンケートの結果から、参観者にとって地域の歴史を知る機会となったことがうかがえた。一部、少し難しかったとの感想があった。	前年度と同様に開催の予定。
		古文書講座(全2回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	地域の方々へ向けた博物館主催講座の一環として、古文書に書かれた内容から、当時の歴史的背景や人々の行動を窺い深く歴史について理解することを目的として開催する。令和6年度は、千葉県などの旧家に残された借金証文をテキストにして、江戸の公金貸付について紹介した。		2011		アンケートの結果から、参加者にとって、大変興味深い内容だったことがうかがえた。一部、時間が足りなかった(スピードが速かった)ため理解しにくかった、という感想があった。	前年度と同様に開催の予定。

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
東葛飾	松戸市立博物館	企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」	a.イベント(不特定多数が参加)	何に使ったのかもよくわからない不思議な形をした貴重な異形土器を東日本各地から借用し、展示紹介した。		2024	2024	土器の中でも不思議な形をしたどこか可愛い異形土器を数多く展示紹介し、専門家による記念シンポジウムも開催したことで、市内のみならず県外からも多くの方々にご来館いただけた。	戸定歴史館・市立博物館連携特別展「まつど×とくがわー昭武・武定の生きた明治・大正・昭和ー」
		館蔵資料展「たてたてあなあな 竪穴建物の世界」	a.イベント(不特定多数が参加)	市内竪穴建物から出土した資料や、世界各地で記録された竪穴建物の写真やパネルを用いて、松戸と世界の竪穴建物を展示紹介した。		2024	2024	子どもが楽しく竪穴建物の構造を学べるように、展示室の一角にペーパークラフト作成コーナーを設置したことで、多くの子育て世帯に来館いただけた。	館蔵資料展「人生の始まり方 終い方 誕生・結婚・死の儀礼」
北総	航空科学博物館	企画展示「月刊「航空情報」～72 年のあゆみ～	a.イベント(不特定多数が参加)	23年10月に休刊した月刊「航空情報」(せきれい社)は、戦後初の航空専門雑誌です。戦後の航空活動再開から現在に至るまでの同誌「航空情報」が私たち読者に与えてくれた航空界のあゆみに、様々な視点から触れ、その変遷をたどる企画展です。	せきれいしゃ	2024	2024	戦後初の航空専門雑誌として半世紀以上、日本の航空再開と共にあった同誌の足跡を辿る当企画展は、そのまま日本の空の復興発展の歴史を見つめなおす機会となった。	企画展示のため、同様の内容の次期企画展示は未定。
	成田山書道美術館	世界と日本の大昆虫展と里山の生きもの展 クラフト展14	a.イベント(不特定多数が参加)	11月の第3土、日を無料開館日とし、通常の展示をご覧いただくほか、イベントとして同左の展覧会を開催した。キッチンカーの出店も回り、紅葉祭り開催中の成田山公園の中での集客を図る。	主催:一般社団法人成田市観光協会 担当:千葉県立農業大学校	2008		持ち出し負担の費用的問題。絶対的な職員数の不足。	費用負担の部分と、対応職員数の減少で関係団体と今後の方針について協議中。
	佐倉市立美術館	エドワード・ゴッリーを巡る旅	f.作品の公募・展示	絵本をテーマにした展覧会を継続的に開催している。令和6年度は、アメリカの絵本作家 エドワード・ゴッリーの展覧会を開催した。		2024	2024	市内外から多くの来館者が訪れたことにより、文化芸術に親しむ機会を提供するだけでなく、地域の賑わい創出に寄与することにも繋がった。引き続き、情報発信の強化が課題となっている。	絵本をテーマにした展覧会を開催する。予算削減により事業数が減少し、施設の機能を十分に活用することが難しい状況となっている。
		香取秀真の眼	f.作品の公募・展示	佐倉ゆかりの鍔金家 香取秀真の展覧会を開催した。		2024	2024	近代工芸史に大きな足跡を残した鍔金家 香取秀真の作品等を紹介し、古典的な美に関する視点を提供することができた。また、佐倉ゆかりの作家を紹介することにより、地域への理解関心を深める機会創出にも寄与することとなった。	絵本をテーマにした展覧会を開催する。予算削減により事業数が減少し、施設の機能を十分に活用することが難しい状況となっている。
	伊能忠敬記念館	収蔵品展「国宝伊能忠敬関係資料の世界」	j.その他	地図だけでなく日記や書簡といった多様を資料を含む2345点の国宝伊能忠敬関係資料を、2か月一度の展示替えによって余すことなく紹介する。		2004		国宝の実物を閲覧できる収蔵品展は概ね好評であった。	収蔵品展は今後も継続して行う。
		令和6年度伊能忠敬記念館企画展「伊能図の再生」	j.その他	香取市では、平成22年に国宝に指定された「伊能忠敬関係資料」を次代へ継承するため、平成23年以降、伊能図を対象に保存修理事業を行っている。本事業では、最新技術を駆使して綿密な調査を実施し、そこで得られた情報をもとに資料を補修している。本企画展では、修理の過程で得られた知見を紹介し、伊能図が現在まで残されてきた歩みの一端を明らかにする。		2024	2024	関連講座も開催し、好評であった。	令和7年度は特別展を実施予定である。

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	美術収蔵品展	f.作品の公募・展示	当館では、常設展示という位置づけではなく、各美術収蔵品展にテーマを設定し、内容を絞り込んだ展覧会を開催している。令和6年度は計10回の美術収蔵品展を開催した。また、バーチャルミュージアム映像として、すべての美術収蔵品展の会場の映像配信も行い、誰もが鑑賞できる機会を提供した。(美術企画展は開催なし)		1994		各収蔵品展で、同じ作品を何度も展示しないよう、なるべく数年の間隔を空け、また新収蔵資料を優先して展示するなど、展示サイクルの設定に最も工夫している。入館者数は、コロナ禍以前の水準に回復している。	令和7年度には美術収蔵品展10回を開催予定で、今後も継続してゆく。(美術企画展は開催なし。)
		共催展示	f.作品の公募・展示	市内の芸術文化団体の展示、発表の機会を提供するため、絵画・書道・写真等の各団体の展示を共催展示として開催している。令和6年度には、全18団体展覧会を開催した、また、すべての共催展示についてもバーチャルミュージアム映像の配信を行い、誰もが鑑賞できる機会を提供した。	当館共催団体協議会他	1994		展覧会を開催し、作品発表の機会を提供することは、地域の芸術文化の振興を図る上で有意義であったと考えている。なお、各団体を構成する会員数が減少傾向にある点は課題である。入管者数は、コロナ禍以前の水準に回復しつつある。	令和7年度には、全17団体の展覧会の開催を計画しており、今後も継続してゆく。
	城西国際大学水田美術館	大江戸探訪 浮世絵でタイムスリップ	a.イベント(不特定多数が参加)	吉原や歌舞伎、相撲などの娯楽や、麻疹絵など世相を反映した浮世絵を展示。		2024	2024	さまざまなジャンルの浮世絵をご覧いただく機会となった。	
		川久保悦子の庭 花と猫と	a.イベント(不特定多数が参加)	本学看護学部教授・川久保悦子の銅版画作品を展示。		2024	2024	学内・学外からも多くの来館者があり、優しい作風に癒されたと好評だった。	
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	佐倉市や旅行会社との提携により、ツアーの実施	佐倉市、旅行会社	2023		外国人向けのツアーを組み込むことで、日本在住の方だけではなく、観光客も増加しました。	各事業者から要請があればその都度対応します。
	館山市立博物館	企画展解説動画の制作・公開	j.その他	市立博物館において実施した企画展について、担当学芸員が概要・見どころを解説する動画(字幕入り)1本、資料の説明用ショート動画1本を制作・公開した		2020		自宅・学校で利用できる学習ツールとして制作・公開した。字幕入りの動画は、聴覚障がい者の方からも理解しやすかったとの感想を得ている。	年3回実施の企画展について解説動画を制作・公開する予定。
かずさ・臨海	鋸山美術館	もののけの宴	f.作品の公募・展示	妖怪彫刻家武本大志と妖怪作家柳生忠平によれる妖怪をテーマにした展示	筑波大学	2024	2024	妖怪のイメージを親しみのあるものとして展示したことにより子供からシニアまで多くの方楽しんでいただいた	
	市原歴史博物館	展示事業	f.作品の公募・展示	市原市の歴史に関する実物資料、映像、パネル等を常設展示するほか、収蔵資料や様々なテーマに沿った資料を展示する企画展示を行う。		2023		市原市の歴史遺産の魅力を多くの来館者に知っていただくことができた。	常設展を通年、特別展を年1回、企画展を年4回、ミニ展示を年2回開催予定

【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	16	43.2
実施していない	21	56.8
計(B)	37	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	7	43.8
東葛飾	0	0.0
北総	2	12.5
九十九里	2	12.5
南房総	3	18.8
かずさ・臨海	2	12.5

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	6	37.5
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2	12.5
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	3	18.8
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	25.0

(2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	9	2	2	0	1	0	2	24

【h. その他】の概要(抜粋)

後継者の育成が課題

(2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	7	11	5	5	3	6	1	2	40

【h. その他】の概要(抜粋)

新型コロナウイルス感染症まん延の際に中止になり、そこから再開時期未定 令和6年度は伝統文化に関する企画展示を実施しなかった
--

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	5	14.3
実施していない	30	85.7
計(B)	35	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	60.0
東葛飾	0	0.0
北総	0	0.0
九十九里	1	20.0
南房総	1	20.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	1	20.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	20.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	20.0
f.作品の公募・展示	0	0.0
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	1	20.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	3	2	1	0	0	0	0	2	8

【h.その他】の概要(抜粋)

予算の確保が困難、後継者育成が課題

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	11	17	6	6	3	7	1	2	53

【h.その他】の概要(抜粋)

施設の設立趣旨に合致しないため実施していない

【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした事業について
(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曽利貝塚博物館	あれもEこれもE	j.その他	大正13年、加曽利貝塚の発掘調査ではじめて発見された「加曽利E式」土器は、その後、関東の縄文時代中期を代表する土器型式として認識されている。平成30年度よりスタートしたE式土器をテーマとした展示「あれもEこれもE」は、千葉市内編・印旛地域編・北西部地域編・千葉市内編2・内房編・外房地域編と、県内各地の資料の紹介・展示を行ってきた。令和6年度の総括編をもって、終了となった。		2018	2024	会期の途中で配布リーフレットの在庫切れが見込まれたため増刷するなど、非常に多くの関心が寄せられたと思う。	加曽利B式土器をメインテーマとした展示を開催する予定。
	千葉県立美術館	伝統工芸千葉展	f.作品の公募・展示	日本の優れた伝統工芸の保存と発展を目指し、千葉県で活動する工芸家の作品を展示し、千葉県に今も根づく伝統工芸の紹介をする	日本工芸会千葉県支部	2017		古くから根付く伝統工芸が少ない千葉県にあって、県内で活動する工芸家は貴重な人材である。その方々の作品を展示することで、県内の伝統工芸を県民に伝えることができたと思われる。	今年度も実施予定である。
	千葉県立中央博物館	千葉の伝統的工芸品「萬祝染」を体験しよう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	千葉県指定の伝統的工芸品の鴨川萬祝染の鈴染を講師に迎え、職人と一緒に万祝製作行程の色差しの体験を行った。	鴨川萬祝染鈴染	2024	2024	材料費として1,650円が必要であったが、募集定員いっぱいでの開催となった。職人の厚意で当初の告知した図柄より多くの図柄が用意され、また試着用万祝を着用して記念撮影を行い、好評であった。	期間展示に係る関連事業のため、令和7年度は予定なし。
	八千代市立郷土博物館	やちよの民俗行事	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	正月の注連縄作り等の藁細工を製作している下高野地区在住の方を指導者にお招きし、地域に伝えられている厄災除けのツジグリの一種であるワラヘビを作る講座。		2017		地域の民俗行事を基軸として、その周知と普及に関わるとともに、参加した親子や参加者同士のコミュニケーションの場にもなったかと考えられる。材料であるワラの確保や、講師の方の高齢化などの課題がある。	例年通りの時期、規模で開催を予定している。規模の拡大は困難と考えられる。講師の方の都合や体調などを考慮して、講座の内容を変更する可能性も、今後生じ得ると考えられる。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得ることができた。	令和6年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
	千葉経済大学地域経済博物館	令和6年度特別展「房総のお医者さん～江戸時代の地域医療～」	a.イベント(不特定多数が参加)	江戸時代の房総で活躍した「お医者さん」の存在に光を当て、彼らの修めた学問や実践した医療行為を紐解くとともに、患者の存在や呪術や信仰といった側面にも注目して、近世房総における「医療」の具体像を紹介した。		2010		本展示では、展示という形を通して千葉の歴史事象を分かりやすく示すことができた。またアンケート結果からは、普段の生活では知ることのできない地域の歴史を取り上げたことで、千葉の歴史に改めて興味・関心を持ってもらうきっかけとなったことがうかがえた。	前年度同様、千葉県の地域史をテーマに開催予定。
	市立市川考古博物館	小企画展「鬼高遺跡の宝もの」	f.作品の公募・展示	当館では夏期から1年間展示する小企画展を毎年開催している。2024年8月からは市川市指定史跡である「鬼高遺跡」を紹介する。代表的な出土遺物が令和4年に千葉県指定有形文化財となった記念事業である。		2024	2025	市川市史編集及び千葉県指定を受けるための調査成果を踏まえた新たな復元をもとに展示した。また作業は大学生の博物館実習を兼ねており、教育・人材育成にも貢献した。	7月末まで展示を継続する。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	郷土資料館テーマ展、市史編さん事業展示、常設展示	f.作品の公募・展示	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催により、郷土の歴史、文化について広く紹介し、郷土愛の醸成に寄与する。 令和6年度のテーマ展は、「明治～昭和のくらしの道具展」、市史編さん事業展示「茂原市内の古墳時代 ―国府関夏身遺跡、中原遺跡、山崎横穴群等―」。		1994		展示室の設備の形状等に制約がある中、都度、展示内容を変更する必要があるため、ケース配置等に工夫を凝らして陳列している。入館者数は、コロナ禍以前の水準に回復しつつある。	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催を継続してゆく。令和7年度のテーマ展は、「終戦80周年記念展示」、「市史編さん事業展示」を予定。
	大網白里市デジタル博物館	大網白里市の郷土芸能	j.その他	市内で継承されている郷土芸能に関する資料(動画・音声・歌詞など)をデジタル博物館に独立したコンテンツとして公開している。	各地区の保存会	2019		年間1,472件のアクセスがあり、好評であった。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	a.イベント(不特定多数が参加)	通年で日本刀を展示しています。				日本刀に魅力を感じる方が増加しています。	これからも日本刀の展示を継続していきます。
	館山市立博物館	祭礼・民俗行事映像のデジタル化	j.その他	8mmフィルムやVHS等で保存されている過去の撮影映像をデジタル化することで、長期保存と活用を図った。		2024	2024	保存する映像記録について整理し、一部資料をデジタル化することができた。データの活用が今後の課題である。	音声資料・映像記録のデジタル化については今後も進めつつ、展示やWEBページでの公開も含めた活用方法について検討する。
	鴨川シーワールド	獅子舞披露	a.イベント(不特定多数が参加)	正月イベントの一環として時間を決め来園者に獅子舞披露を楽しんで頂くイベント。	・宮神伝承会 ・曾呂ふるさと囃子保存会 ・和泉三役神楽 ・獅子舞保存会	2016	2019	令和2年以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	連携団体との開催日程の調整が難しいため実施予定はない
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	常設展示	f.作品の公募・展示	「ふるさとの歴史と自然をたずねて」をテーマに、「郷土を掘る」・「城と武士」・「信仰と文化」の3つのコーナーから構成される展示。甲冑や刀剣・細工楊枝や現在も継承される上総掘り、二五穴などの伝統の技術の紹介があり、展示を通して市の文化遺産を学ぶ場を整える。入館料は無料でありどなたでもご覧いただける。		1979		一部資料の入れ替えなどを実施。	令和7年度も引き続き実施予定である。

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした事業について

(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曽利貝塚博物館	博物館学芸員実習	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学芸員資格の取得を目指す学生を対象に、館務実習の受入をおこなっている。				職員による講義、園内・館内見学のほか、実習生による企画展「加曽利でさがそう 縄文の木」を開催した。来館者より好評を得ており、良い企画展示であったと思う。	令和7年度も引き続き実施予定である。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得た。子供向けの体験講座の開催やSNSでの活動紹介を通し、後継者の育成・団体の新規会員募集に努めることができた。	令和6年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
	組紐ボランティア養成講座	組紐ボランティア養成講座	j.その他	1000年以上昔にさかのぼる組紐古技法「クテ打」を伝承し、博物館活動を通じて広く普及するボランティアを養成する。	組紐ボランティア	2013		今年度の参加者のうち3人がボランティアとして定着し、普及活動に貢献している。また、研修会やワークショップを通じて、ボランティアが相互に教えあう土壌ができつつある。	今年度は普及活動、ワークショップを中心に活動し、新規募集は令和8年度に実施する予定。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	歴史セミナー・古文書講座	e.講演会・研修会・シンポジウム	郷土の歴史、文化に関連のある内容で、各分野に精通した講師を招き、講演会を開催。歴史セミナーは、第1回「市史編さん事業展示 茂原市内の古墳時代」の講演会、第2回「寺社参詣の旅と房総」の計2回、親子で学ぶ歴史講座「土器や石器に触れて昔の暮らしを知ろう」を1回、古文書講座は計5回を開催。		1994		受講希望者の多い古文書講座については、より多くの方々に参加いただくため、より広い会場(市役所)に場所を移して開催している。郷土の歴史を学び、郷土愛を育む上で、有意義な事業と考えている。	令和7年度は、歴史セミナー計3回、親子で学ぶ歴史講座「土器や石器に触れて昔の暮らしを知ろう」を1回、古文書講座を計5回、市史編さん事業講演会1回を開催予定。今後も継続してゆく。
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	a.イベント(不特定多数が参加)	現代の刀鍛冶の作品を展示しています。				小中学生に対しての展示説明を行いました。	これからも要望があれば若年層向けの解説を継続していきます。

【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり ～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	20	51.3
実施していない	19	48.7
計(B)	39	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	7	35.0
東葛飾	2	10.0
北総	4	20.0
九十九里	3	15.0
南房総	3	15.0
かずさ・臨海	1	5.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	6	30.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	6	30.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	2	10.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	5.0
f.作品の公募・展示	3	15.0
g.キャンペーン	1	5.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	1	5.0

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	3	7	2	3	1	1	2	1	20

【h.その他】の概要(抜粋)

文化財としての活用制限について、観光部局との認識共有が必要

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	6	11	5	4	0	4	2	2	34

【h.その他】の概要(抜粋)

依頼はあったが、自主事業の都合により受入ができなかった 施設の設定趣旨に合致しないため
--

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	4	10.8
実施していない	33	89.2
計(B)	37	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ペイ	1	25.0
東葛飾	1	25.0
北総	0	0.0
九十九里	1	25.0
南房総	1	25.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	1	25.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	25.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	25.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	0	0.0
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	1	5.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	1	1	2	1	0	0	0	2	7

【h.その他】の概要(抜粋)

・英語での展示説明
・他部署との連携事業だが、毎年、実行委員会及び担当事業者が過密スケジュールでの準備に終始しており、主催者ではない当館が本来分担以上の業務負担を担っている

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	14	16	16	8	7	10	1	2	74

【h.その他】の概要(抜粋)

・市内の他館において実施しているため当館では実施なし

【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり

～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した事業について
(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	船橋市郷土資料館	企画展「船橋の食文化」	a.イベント(不特定多数が参加)	千葉県立薬園台高等学校園芸科・船橋市学校栄養士会・立命館大学食マネジメント学部鎌谷研究室の協力を得て、「食文化」に関するさまざまなテーマについて調査・研究を進め、展示およびワークショップを実施した。	薬園台高校園芸科・船橋市学校栄養士会・立命館大学鎌谷研究室	2024	2024	会期後に、調査・研究の成果を講演会等で紹介したり、連携団体側が企画した事業に当館が協力するなど、特に、令和5年度以前から関係を築いていた団体とは効果的な連携ができた。ただし、通常の業務・活動以外の時間帯で連携した活動を実施しようとしたため、連絡を密に取れなかった団体もある。	企画展のテーマとして「食文化」を取り上げる予定はないが、船橋市の歴史に関する調査研究の一環として、令和6年度の成果を踏まえて「食文化」についても調査研究を進め、要望があれば講座等で成果の一端を紹介する予定。
	千葉県立美術館	開館50周年企画展 HELLO！コレクション ZOZO×千葉県立美術館	a.イベント(不特定多数が参加)	株式会社ZOZOと連携して、県美とZOZOのそれぞれのコレクションを展示するとともに、3人のアーティストによるワークショップを行った。	株式会社ZOZO	2024	2024	県立美術館とzozoのコレクションを展示することで、各時代の「現代アート」として需要され、次の時代の表現へ結びついていく様を紹介できた。またワークショップでは作家との創作活動という日常にはない体験を通じて、アートと出会ったり、アートを身近に感じるきっかけとなった。	令和7年度は本展覧会は予定されていない
	千葉県立現代産業科学館	展示・運営協力会、実験・工作教室・サイエンスショー「これでわかった！未来の技術 最先端テクノロジーにふれてみよう！」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	当館の展示及びこれに関わる教育普及・調査研究等の活動をより発展させるため、館の趣旨に賛同し、専門知識を有する団体及び個人が、館の行う科学技術の普及に対し、支援及び助言を行っている。館の常設展示に関する技術的指導や情報提供等を行ったほか、展示物の提供や展示のための調査・研究活動に対する支援、助言を行った。また、会員が専門とする分野に関する実験や工作を参加型の方法で実施した。	千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会	1999		展示会は14の会員団体の出展があり、多くの来館者の見学があった。実験・工作教室は6会員。サイエンスショーは4会員が実施。実験・工作教室は事前申し込み制で行い、人気が高く、抽選による実施となった。サイエンスショーは家族での参加が多く、子どもから大人まで幅広い年齢層に楽しんでいただいた。	8月9日(土)～24日(日) 昨年度、5年ぶりに実施した講演会を本年度も開催するとともに、展示スペースを広げるなど事業を拡大して実施する予定である。
	八千代市立郷土博物館	牛乳パックで野球帽をつくろう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内の乳業会社「コーシン乳業」の協力のもと、牛乳パックで野球帽を作るとともに、市内の酪農の歴史を振り返る。	コーシン乳業株式会社	2024		令和6年度からの試みで、地域の企業と連携を図るために設定した。参加者は、大人8名、子ども4名と、多くはなかったため、開催時期について検討すべき。	令和7年度は、企業と調整を行った上で、昨年同様に実施予定である。ただ、時期をずらしたり、ポスターでの広報に注力するべきである。また、公民館などとも連携し、事業を展開していく。
	浦安市郷土博物館	博学連携事業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	浦安市郷土博物館の基本コンセプトの一つである「学校教育に活かせる博物館」を指標として、学校と連携した体験活動・出前講座を行っている。		2001		市立全小学校3年生が「昔のくらし体験」を、小学校4年生が「海苔すき体験」を実施したほか、幼稚園・認定こども園・保育園の体験活動、中学生の職場体験等を実施し、博物館での体験、学校への出前授業、博物館収蔵品を活用した授業、ホームページの動画や資料を活用した授業等、博学連携の形の多様化とその充実が図られてきた。	令和6年度に引き続き事業を実施し、活動の充実に努めていく。
	市立市川考古博物館	市川市歴史年表設置、いちかわ歴史スタンプラリー	f.作品の公募・展示	前年度に制作した印刷データを若干修正し、市川駅に隣接した標高150mのアイ・リンクタウン展望施設設置した。7月の公開初日には近隣の小学6年生や関係者を招いた除幕式を実施した、また、11月から2月まで、この歴史年表と考古・歴史博物館を巡るスタンプラリーを庁内関連部署との協力により実施した。	歴史博物館、観光振興課、デジタル地域通貨担当ほか	2023	2024	細部調整を経て早期に施工し、公開式典や関連事業を実施できたことで、人気観光施設やデジタル地域通貨を活用する庁内横断的事業につながった。また、博物館に新たな客層を呼び寄せる効果があった。参加者数は式典の人数。	関連事業の開催を検討中である。
	市立市川歴史博物館	企画展「発見・体験 昔のくらし」	f.作品の公募・展示	市内の小学3年生の授業(社会科)や校外学習と連携した内容。昭和30～40年代を中心とした衣食住に関連する生活道具や、小学校関係の資料等を展示して当時の人々の暮らしの様子を探る。	市内の小学校	2007		展示会に参加した小学校の校数は、昨年比1校増加の21校となり、参加校の満足度は高かった。	今年度も継続予定。児童数の多い学校へ対処するために、展示説明や誘導などをするボランティアを増やす(今年度はボランティア延べ人数64名)。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	戸定アートプロジェクト2024 四萬六千日献灯 松戸宿坂川献灯まつり 松龍寺光のアート	a.イベント(不特定多数が参加)	地元企業で構成される「実行委員会と連携・協力し、まつり会場の一部で地元アーティストの監修によるインスタレーション展示を行い、地域の魅力発見に貢献する。	松戸宿坂川献灯まつり実行委員会	2007		地域住民への周知が高まっている事業だが、主催事業ではないため、事業の進捗や連絡体制に課題が残る。一方で、同展示内で子どもを対象としたワークショップを行い、予定した日数超過して参加希望者を受け入れたほど好評だった。	光のアート(インスタレーション展示)とワークショップを開催する。主催事業ではないため、引き続き事業の進捗や連絡体制に課題が残る。
	松戸市立博物館	森のこども館はくぶつかんチーム	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2023年度から森のこども館と松戸市立博物館が連携して、「はくぶつかんチーム」を結成した。1年間の活動と通じて、「学ぶことは楽しいこと」「博物館はおもしろい場所」だと伝えていくことを目標に、松戸市内の小学生を対象にチームメンバーを募集し、当館学芸員が講師となって1年間を通じて歴史と文化を自分の手で確かめながら学ぶプログラムに挑戦した。	森のこども館	2023		概ね目標を達成することができた。	継続予定

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
北総	航空科学博物館	2024芝山夏祭り	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館を会場として、芝山町観光協会主宰の夏祭りを開催した。	芝山町観光協会	2024	2024	芝山町観光協会や芝山町と連携し、地域との観光連携を図った。	今年度は、2025年度7月19日に開催予定
	成田山書道美術館	千葉県高等学校教育研究会書道部会研修会	e.講演会・研修会・シンポジウム	千葉県の高等学校書道教諭の参加する研修会。特別閲覧や展覧会を館職員が講師となり案内、説明することで学校教育の中の鑑賞教育に寄与することを目的としている。	千葉県高等学校教育研究会書道部会	ここ10年ほど		開催することに館への認知度が高まっているようで利用者の評判は高い。反面、学校教育の授業との連携はこんごのかだいである。	あり。学校での授業を含めた連携の強化
	大原幽学記念館	幽学の里で米作り交流事業	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)		旭市農漁村交流協議会	2007		普段の生活ではできない体験として好評。リピーターも多い。	令和7年度も実施
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原七夕まつり連携企画「茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードプレゼント」	a.イベント(不特定多数が参加)	茂原七夕まつり期間中に、まつりへの来客を当館へ呼び込む企画として、来館者に当館のポストカードをプレゼントするイベント。2日間で100枚の配布を計画した。	茂原七夕まつり実行委員会	2014		令和5年度からは、以前よりも配付枚数を増やして実施している。当市最大のイベントである茂原七夕まつりにあわせて、当館の周知を図る事業を実施することは、有意義であると考えている。	今後も同内容のイベントを継続してゆく。
	大網白里市デジタル博物館	文化資源と観光資源の連携・発信事業	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	コミュニティ助成事業助成金を活用して、デジタル博物館に文化資源と観光資源を連携させたコンテンツを作成して、リアル謎解きイベントを開催する。		2025	2025		新規コンテンツを作成し、謎解きイベント等を開催する予定。
	城西国際大学水田美術館	第2回 風のアール・ブリュット ココロ・ポリリズムJiU	a.イベント(不特定多数が参加)	本学の域学共創プロジェクトでは「生活クラブ風の村 アール・ブリュット事業」に参加し、作品制作を通じて障がいのある方々と学生、地域をつなげる活動を行っている。その活動と障がいの者を紹介。	城西国際大学域学共創プロジェクトA、社会福祉法人生活クラブ、株式会社いろだま	2023		事業に携わった本学学生の教育にもつながったと好評だった。	11月に実施予定
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	サムライの町をめぐるツアーを実施	佐倉市、JR東日本	2023		昨年よりツアーの回数を増やすことでツアー後に日本刀に興味を持つ方が増えたとの回答がありました。	これからも要望があれば協力していきます。
	館山市立博物館	企画展「資生堂創業者福原有信と館山」	f.作品の公募・展示	館山市竜岡の旧松岡村出身で、資生堂の創業者である福原有信について資生堂等と連携して展示やイベントを実施した。	資生堂、福原コーポレーション、朝日生命	2024	2024	当地域ゆかりの人物について、企業と連携し、市内だけでなく全国の来館者に対して伝えることができた。	市立博物館本館および分館において、安房地域の歴史・民俗・文化をテーマとした企画展・テーマ展を開催予定。
	鴨川シーワールド	鴨川市と鴨川シーワールドの子育て世代応援事業	g.キャンペーン	2歳未満の両親(鴨川市民として出生届を提出された方、2歳未満のお子様と一緒に鴨川市に転入された方)に鴨川シーワールドの年間パスポートを配布する。	鴨川市	2018		概ね良好であった。	実施予定

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	国際文化事業 デュッセルドルフ市とのアーティスト交換事業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	県はドイツ、デュッセルドルフ市とアーティスト交換に関する協定を鄭悦したが、令和6年度は千葉県にゆかりのあるアーティストとして花澤武夫氏をデュッセルドルフ市に2か月間派遣した。	デュッセルドルフ市	2024	2029	令和6年度は千葉県からデュッセルドルフ市に千葉県ゆかりのアーティスト花澤武夫氏を2カ月間派遣した。帰国後、成果展や花澤氏によるアーティストトークを行うことで、アーティストの芸術性・創造性を高めることができ、地域の文化・芸術の発展と活性化に資することができた。	令和7年度はデュッセルドルフ市からアーティストを受け入れる予定。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	科学と芸術の丘	a.イベント(不特定多数が参加)	オーストリア・リンツ市に拠点を置く文化団体「アルス・エレクトロニカ」などと松戸市が連携し、先端科学を用いたアート作品を、国指定重要文化財「戸定邸」などに展開するアートイベント。	科学と芸術の丘実行委員会	2018		周知度合いは年々高まっているが、来場者増に対して、受け入れ態勢をどう整えるのか、他部署との連携・情報伝達が課題である。とはいえ、千人規模の集客を記録しているほか、地元店舗との協力なども積極的に行い、地域密着型イベントとして定着してきている。	10月に開催予定。毎年、実行委員会及び担当事業者が過密スケジュールでの準備に終始しており、主催者ではない当館が本来分担以上の業務負担を担っているため、作成したマニュアルをもとに体制を確立していきたい。
九十九里	大網白里市デジタル博物館	デジタル博物館の一部の英訳	j.その他	デジタル博物館内の市の紹介ページと芸術家のページを英訳して、外国人が閲覧しやすいようにしている。		2019		デジタル博物館内の市の紹介ページと芸術家のページを英訳して、外国人が閲覧しやすいようにしている。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	日本刀に興味のある外国人向けのツアーの実施	佐倉市、ツアー会社	2024		日本刀は固有名詞が多く、外国人に対しての展示説明がとても難しいと感じている。	要望があれば実施していく。

【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり ～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	25	65.8
実施していない	13	34.2
計(B)	38	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	7	28.0
東葛飾	4	16.0
北総	6	24.0
九十九里	3	12.0
南房総	3	12.0
かずさ・臨海	2	8.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	7	28.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	4	16.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	3	12.0
d. 舞台公演・コンサート	2	8.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	4.0
f. 作品の公募・展示	3	12.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	16.0

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	14	5	3	2	0	2	2	36

【h. その他】の概要(抜粋)

後継者の育成が課題

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	5	6	2	5	1	3	0	0	22

【h. その他】の概要(抜粋)

--

2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

(1)展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	3	9.7
実施していない	28	90.3
計(B)	31	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	0	0.0
東葛飾	0	0.0
北総	1	33.3
九十九里	1	33.3
南房総	1	33.3
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	2	66.7
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	0	0.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	2	2	0	0	0	0	0	0	4

【h.その他】の概要(抜粋)

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	5	13	9	7	2	7	0	0	43

【h.その他】の概要(抜粋)

【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曽利貝塚博物館	夏休み子供向け企画展	j.その他	夏休み期間中の小中学生を対象として、親しみやすい内容の展示解説することで、縄文時代や加曽利貝塚に対する興味関心の向上を目的としている。		2017		学術的な解説が多くなりすぎないように配慮し、子どもにも分かりやすい展示を心掛けた。	令和7年度も引き続き実施予定である。
		縄文春まつり・秋まつり	a.イベント(不特定多数が参加)	加曽利貝塚および縄文時代について、体験などを通して楽しく学び、興味・関心を持ってもらうことを目的として実施している。				雨天により、昨年度より来場者が減少した。	令和7年度も引き続き実施予定である。
	千葉県立美術館	対話型鑑賞	a.イベント(不特定多数が参加)	参加者がそれぞれ美術作品を鑑賞し、感じたことを対話し、他の参加者と共有することで、展示作品について自発的に考え、美術作品の鑑賞の楽しさを広げてもらうことを目的とし、実施した。	ミュージアムサポーター	2022		体験者からは、より深い鑑賞ができたと好評だった。	年度当初からの計画に組み込み、今年度も実施予定である。
		ワークショップ	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	主に幼児から小学生までを対象に、美術館をより身近に感じてもらうとともに、創作の楽しさや面白さを体験してもらうことを目的として開催し、美術館でしか味わえない創作体験の場を提供した。	大学・ミュージアムサポーター他	2001		事前予約制、少人数のワークショップと短時間で作成でき、多くの人数が参加できるワークショップ双方を実施し、どちらも盛況だった。	今年度も各種プログラムを実施予定である。
	千葉県立中央博物館	五月飾りをつくろう	a.イベント(不特定多数が参加)	子どもの健やかな成長を願って飾るかぶとやこいのぼりを折り紙で作り、端午の節句についての説明を行った。	独自	2024	2024	参加者は未就学児～小学校低学年くらいで、保護者に手伝ってもらいながら作っていた。作るものが多かったが、どの参加者も途中でやめて帰ることもなく完成させており、難易度もちょうど良さそうで、おおむね好評であった。	令和7年度も同時期に開催予定。
		藍の生葉で染めてみよう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	藍の葉の観察をしてから藍の葉で染液を手作りし、絹のハンカチで染物体験を行った。	独自	2024	2024	特別展「万祝博覧会―海をまとうー」の関連イベントとして開催した。幅広い年齢層に大変好評で、特に子どもが自由研究の課題として参加し、質問が飛び交うなど意欲的に取り組んでいた。	令和7年度も7月に1回開催予定。
	千葉県立現代産業科学館	ちば子ども大学「ふしぎ体験！立体錯視アートの世界」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	本講座は、さわやかちば県民プラザ連携事業の一環として実施した。立体錯視アートの第一人者でもある明治大学教授 杉原 厚吉 氏を講師として立体錯視作品作りを子ども達が体験した。立体錯視の説明や工作体験を通じて、子ども達の知的好奇心を育んでいくことが本講座のねらいである。	さわやかちば県民プラザ	2024	2024	折り目をつけたり、のりで貼り付けたりと細かい作業も多かったが、子どもたちは丁寧に進めることができた。工作が出来上がり、鏡に映し出した時に立体が変わるのを見て、「すごい！」という声も多く聞こえてきた。非常に充実した講座となったことが伺えた。	
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験を通し、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をととして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得たほか、子供向けの体験講座の開催やSNSでの活動紹介を通し、若年層周知に努めることができた。	令和6年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
		博学連携事業(伝統文化出前講座)	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会の協力により、学校への出前講座を行っている。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会	2001		浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会による、小学校3・4年生を対象とした伝統文化の出前講座を計5回実施し、小学生が浦安の伝統芸能である浦安囃子に触れる機会となった。	令和6年度に引き続き、伝統文化の出前講座を行っていく。
	千葉経済大学地域経済博物館	博物館実習	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	千葉経済大学学芸員課程で行われる「博物館実習」(館園実習含む)、「調査実習」の受け入れ。		2010		令和6年度は10名の学生を受け入れ、実習を行った。資料の取り扱い・整理方法などを教示し、学生にとって有意義な実習を行うことができた。	前年度と同様に実施予定。
		千葉大学教育学部附属中学校2年生選択社会科「未来へつなぐ歴史探訪」	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	千葉大学教育学部附属中学校生徒の見学の受け入れ。特別展の案内や、博物館の役割について説明した。		2024	2024	中学生13名と教員1名が来館し、特別展見学を行い、博物館の役割について説明した。	令和7年度の実施予定はありません。

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	縄文出張授業	e.講演会・研修会・シンポジウム	学芸員が実物資料を持参して学校を訪問し、資料を見せながら縄文時代や貝塚を詳しく説明する。以前は来館型を主としていたが、コロナ禍を契機に出張型を原則としている。		2002	0	19か所で実施した。学習効果が高い来館型の復活が次年度の課題である。	今年度と同様に実施する。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	戸定アートプロジェクト(コンサート)	d.舞台公演・コンサート	国指定重要文化財「戸定邸」を会場に、クラシック等のコンサートを実施し、幅広い層への総合的生涯学習の浸透を図る。	松戸市教育委員会 文化財保存活用課・戸定歴史館			コンサートを2回実施したが、各回200名を超えるお客様が入り室内に入りきれないほど盛況だった。戸定邸という文化財で聴くという体験が好評を得た。また、子供連れでも本格的な音楽鑑賞をできるということも好評を得た。	コンサートを実施予定。アーティストの選定等、長期継続を意識した来場者の対応を想定して、高い質でイベントを実施していけるよう準備を進めたい。
		出前講座	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学習支援専門員(元小学校教諭)を各学校へ派遣し、紙芝居やタブレット端末を活用して文化財の解説や徳川昭武の紹介を行う。	松戸市教育委員会 文化財保存活用課・戸定歴史館	2020		元教員という実績と能力を活かして対象年齢に合わせた解説を行った。タブレット端末を活用したVR体験や紙芝居など、独自コンテンツを取り入れた地域学習の授業は、派遣先の児童生徒、担当教員からも好評を得ている。	学校への周知強化と学習素材のブラッシュアップに取り組む。
	松戸市立博物館	第9回博物館アワード作品展	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館アワード(歴史自由研究部門、イラスト部門)に応募した小中学生の入賞・入選作品を展示した。		2016		応募については夏休みの自由研究の課題としてほとんどの学校が取り上げている状況にある。近年は応募数、作品のレベルも上がっていて子どもたちの意欲上昇を実感している。	第10回博物館アワード作品展
		縄文人なりきり宿泊体験！竪穴住居に泊まろう！	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	松戸市立博物館「野外展示・縄文の森」に展示されている復元竪穴住居に宿泊し、普段生活から離れた緑豊かな自然の森の中で子どもたちが自主性をもった活動を行うとともに、縄文時代の人びとの暮らしを体験し歴史に対し興味を創出する場を目的とする。		2022		宿泊体験の目的である、歴史を身近に感じてもらい、歴史に対する理解や興味関心、学習意欲の向上を目指すことについて達成することができた。事前説明会を実施したことで、保護者のみならず、子どもたちが体験内容を理解していたことで、戸惑いなく様々なことに挑戦し、充実した時間を過ごすことが出来た。	なし
	関宿城博物館	関宿城絵画コンクール作品展	f.作品の公募・展示	関宿城とその周辺を題材とした絵画作品を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品の展示会を行うことで、関宿城を理解し、博物館の活性化を図る。	千葉県立関宿城博物館友の会	2023		表彰式では児童生徒の喜ぶ姿だけではなく、保護者等の嬉しいような表情を見ることができ、博物館への関心や親しみが向上した様子が見られた。一方で審査員の確保や審査日から表彰式までの日程がタイトであることなどの課題が残った。	R7年度も実施予定
	茂木本家美術館	「美術館へ行こう」	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	野田市内小学4年生及び中学1年生を対象に招待状を送付している。生徒の同伴家族2名も招待とする。学校長、担任の先生、美術の先生も招待する。(毎年10月～翌年3月末)	野田市内の小・中学校	2024	2024	親子でゆっくり美術品鑑賞や庭の散策をし、楽しい思い出を持ち帰っていただくのが主旨となっており、成果はあったと思っている。	2025年度も昨年同様の活動を実施する。

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
北総	航空科学博物館	航空キッズアート展	f.作品の公募・展示	航空に関する自由絵画やぬりえ部門など広く作品を公募している芸術作品展。		2024	2024	毎年実施している事業で、令和6年度は約100点以上の作品応募があり、多くの子供たちから応募があった。優秀賞なども設定しており、受賞者には賞状と景品の授与式を行っている。	令和6年度も実施予定。
	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	第39回芝山はにわ祭	a.イベント(不特定多数が参加)	現代の人々が忘れていた古代の心の豊かさや素晴らしさを振り返り、また思い起こすために1982年から始まった町内最大の祭。地元の小・中学生等が古代人に扮し、殿塚古墳・姫塚古墳をはじめ、芝山仁王尊・芝山公園等で儀式やパレードを実施。例年11月第2日曜日に実施。	芝山はにわ祭実行委員会	1982		例年の通常開催に加えて天候に恵まれたこともあり、博物館も無料開放や体験教室等のイベントを実施した結果、当日の来館者は令和6年度を大きく上回った。	第40回目の節目の開催となることから、令和6年度に引き続き関係機関と連携してイベントの新規追加や規模拡大を検討。
	佐倉市立美術館	アートプロジェクト(出前授業、美術館訪問)	j.その他	鑑賞コミュニケーターによる対話型美術鑑賞を市民団体への委託により実施している。市内小中学校における出前授業及び美術館訪問等を行った。		2013		長期的な事業実施に不可欠となる人材の育成等	引き続き実施
	伊能忠敬記念館	夏休み体験教室「忠敬の地図作りにプチ・チャレ！」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み期間中に記念館を利用する児童・生徒に忠敬の地図作りについて知り、身近な道具を使いながら実際に製図作業を追体験することによって、夏休みの宿題や自由研究の参考にしてみようと同時に、伊能忠敬への興味・関心を深める機会とする。		2013		コロナが5類に移行したことにより4年ぶりに復活した昨年度に続き、測量と製図体験を行い、こどもたちの忠敬への興味・関心を深めることができた。	継続して実施する予定。
	大原幽学記念館	夏休み体験講座「勾玉づくり」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内小学生を対象に、夏休み期間に親子向け体験講座として、勾玉づくりを実施し、歴史に親しみ、興味、関心をもってもらおう。					
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市文化祭 小中美術展、小中書写展、幼稚園・保育所美術展、塾書道展	f.作品の公募・展示	茂原市文化祭の一環として、生涯学習課と連携し開催。		1994		「茂原市文化祭」として「小中美術展」をはじめとする全部門が揃った開催は、平成30年度以来であり、開催意義の大きな事業である、入館者数はコロナ禍以前に回復しつつある。	開催日程については、生涯学習課を通じて、学校側の要望に沿って実施予定であり、今後も継続してゆく。
		第2回 もばら子どもギャラリー	f.作品の公募・展示	茂原市内の0歳～中学3年生までの子どもたちからの公募作品をすべて展示する展覧会で、前回よりも出品対象年齢を拡大した。バーチャルミュージアム映像として、会場の映像配信も行った。		2023		第2回目となる令和6年度は、出品者数181名、作品数278点と、前回の第1回展の3倍以上の規模での開催となった。次代を担う子どもたちに、当館に親しんでもらう上で、大きな意義のある事業と考える。	令和7年度も同様に開催し、継続してゆく予定である。
	大網白里市デジタル博物館	子ども考古学教室	j.その他	デジタル博物館の原始・古代の資料を子ども向けのコンテンツとして公開している。このコンテンツは市内外の小学校等で活用されている。		2023		令和6年度は8,226件のアクセス数があった。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
	城西国際大学水田美術館	しかけ絵本ワンダーランド ― 飛び出す・変わる・ときめく	a.イベント(不特定多数が参加)	18世紀から現代までのしかけ絵本を展示し、その歴史と技巧の種類を紹介。絵本を手にとれる体験コーナーも設けた。		2024	2024	いつもよりも親子連れの来館者が多かった。関連企画として行った、本学学生によるしかけ絵本ワークショップも65名が参加し好評だった。	
		城西国際大学メディア学部ニューメディアコース卒業制作	a.イベント(不特定多数が参加)	2023年度卒業生の卒業制作の中から優秀作品を展示	城西国際大学メディア学部	2005		学生の4年間の学習成果を発表することができた。	3月に実施予定

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	0	小中学生の団体受け入れ		2020		美術館の展示室が狭いため、一度に団体を入館することができない	要望があれば実施していきます。
	館山市立博物館	なつやすみ宿題大作戦～昔の暮らしの道具を調べよう！～	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み期間における小学生の地域学習をサポートする講座をし図書館と共同で毎年開催しており、令和6年度は企画展と関連して昔の暮らしの道具をテーマとした。	館山市図書館	2016		昨年に引き続き参加する子どももいた。また、講義や見学だけでなく成果物の作成までを実施することができた。参加者の減少があり、広報・講座内容等の見直しが必要である。	講座の実施について見直しを行い、講座は廃止する。図書館と連携して子ども向け学習支援を検討した結果、小学生向け学習ツールの作成を予定している。
		高校生のための知っておきたい身だしなみとマナー講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	企画展「資生堂創業者 福原有信と館山」の関連事業として、資生堂ジャパン(株)のスタッフが、化粧品を実際に体験しながら、若者向けに身だしなみとマナーを教えた。全4回実施。	資生堂ジャパン(株)、(株)福原コーポレーション	2024	2024	市内出身者が創業した企業へ興味・愛着を持ち、開催中の企画展へ足を運ぶ契機とするため実施した。当初、高校生のみを対象としたが、定員に達しなかったため年齢層を限定せずに募集した。普段、博物館を訪れない層の参加を得ることができた。	なし
	鴨川シーワールド	クリスマスイベント 鴨川少年少女合唱団によるXmasミニコンサート	d.舞台公演・コンサート	トロピカルアイランド大水槽前にて鴨川少年少女合唱団によるXmasミニコンサートを実施	鴨川少年少女合唱団	2000		概ね好評であった。	実施予定
		絵画展「みんなの鴨川シーワールド」	f.作品の公募・展示	鴨川市内の認定こども園7園の5歳児の皆さんに鴨川シーワールドをテーマにした絵を描いてもらい、約1ヶ月間館内に掲示した。	鴨川市内の認定こども園7園	2024		概ね好評であった。	実施予定
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	博学融合事業	c.教育機関への人員派遣・学生受け入れ	市内小学生の授業における博物館の活用に対応、協力する。要望により館保有の資料を用いた出前授業を行う。				市内の多くの学校から依頼を受け事業を実施できた。出前授業は前年度より1件増えた。小学校以外の中学校の利用がなく、その点は課題である。	令和7年度も引き続き実施予定である。小学校以外へのアプローチなど広く学校教育に活用してもらうことが課題である。
		夏休み体験講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み中に実施する体験講座。本物の資料に触れたり、実際に作ったりする体験を通じて、歴史や文化への興味関心を高める機会とするもの。				話を聞くだけでなく、資料に触れる体験などを通じて地域の文化に興味を持ってもらえるものとなった。館の規模が小さいため参加者の人数を制限しなくてはならない点は課題である。	令和7年度も引き続き実施予定である。
	市原市歴史博物館	教育普及事業	a.イベント(不特定多数が参加)	土日祝日等を中心に、市原市の歴史や文化財に関連する様々な体験プログラムを開催。		2022		発掘体験や火起こし体験、勾玉づくり体験等、様々な体験学習を通じて、歴史文化への理解を深めるきっかけを創出した。	令和7年度も引き続き実施予定だが、通常体験メニューに加えて、企画展テーマ等に関連した新規体験メニューを開発しながら実施する予定。

2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
北総	佐倉市立美術館	「美粒子」第3回女子美術大学日本画作品展	f.作品の公募・展示	佐倉市と連携協働に関する協定を締結している女子美術大学の日本画専攻在学生及び卒業生の作品展。		2024	2024	若い世代の情報発信及び交流の機会を提供することにより、新たな文化交流の機会創出につながっている。	引き続き実施予定
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	共催展示 市内高校合同美術展	f.作品の公募・展示	市内の公立高校2校の美術部生徒の作品発表の場として、作品の展示配置や作業を生徒たちが行って開催。高校生の意見を聞くことを目的として、美術館学芸員との対話の機会を設けた、また、バーチャルミュージアム映像として会場の映像配信も行った。	市内高校合同美術展事務局	1994		若い世代の創作発表の機会として有意義な事業であると考えている。学芸員と高校生との対話の際に聞き取った意見の中には、良い意見があったため、今後の当館の事業に活かしてゆけるよう検討したい。	令和7年度は、計画どおり令和8年1月16日～1月21日に開催予定。今後も継続していく。
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	f.作品の公募・展示	小中学生の団体受け入れ				体験型のイベントがないため、日本刀に触れる機会がない	要望があれば実施していく

【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	14	36.8
実施していない	24	63.2
計(B)	38	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	6	42.9
東葛飾	2	14.3
北総	1	7.1
九十九里	0	0.0
南房総	3	21.4
かずさ・臨海	2	14.3

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	6	42.9
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	4	28.6
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	2	14.3
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	1	7.1

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	8	2	2	0	1	2	0	17

【h. その他】の概要(抜粋)

・美術館部門の担当者が学芸員1名である。

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	13	6	8	5	5	1	0	46

【h. その他】の概要(抜粋)

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	5	13.9
実施していない	31	86.1
計(B)	36	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	1	20.0
東葛飾	1	20.0
北総	0	0.0
九十九里	1	20.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	2	40.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	20.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	20.0
f.作品の公募・展示	0	0.0
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	3	60.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	2	2	1	2	0	0	0	0	7

【h.その他】の概要(抜粋)

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	11	19	12	7	3	9	1	1	63

【h.その他】の概要(抜粋)

館の展示趣旨と異なるため実施していない

【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	船橋市郷土資料館	①千葉県誕生150周年記念「写真で見る千葉のあゆみ」パネル巡回展、および②国際博物館の日記念ミニ展示「船橋から見える千葉県の150年」	a.イベント(不特定多数が参加)	千葉県立中央博物館主催のパネル巡回展受入れに合わせて、パネル展の内容と関連する当館収蔵資料および船橋市内の民間所在資料を展示。これまで当館の展示においてほとんど紹介してこなかった、県議会や県内の観光名所に関する現物の資料を展示した。	①千葉県立中央博物館、②当館	2024	2024	市立博物館ではあまり紹介する機会がない市外の話題に関する資料を展示する機会になり、来館者は新鮮に感じたようである。ただし、継続的に県の事業と当館の事業を関連付けることは、現在の職員数および業務量では難しい。	実施予定なし
	千葉県立美術館	開館50周年記念特別展 PROJECT UMINOUE「五十嵐靖晃 海風」	a.イベント(不特定多数が参加)	千葉県出身のアーティストである五十嵐靖晃が「かつての海の上である埋立地に新たな文化をつくる」を基本コンセプトとした参加型のアートプロジェクトを行った。千葉みなとエリアを舞台とし、寒川神社「例大祭」、近隣小学校、近隣観光施設と連携し、美術館内外に作品を展開した。	ボランティアサポーター「海風クルー」	2024	2024	千葉みなと周辺の様々な場所で、多くの参加者を巻き込みながら、回遊型美術展覧会を成功することができた。	令和7年度は本展覧会は予定されていない
	千葉市立郷土博物館	千葉氏パネル展「千葉氏をめぐる水の物語」	a.イベント(不特定多数が参加)	市域の河川と海・池からなる「水の世界」と千葉氏との関係を歴史的・文化的な視点からとらえなおすパネル展。		2024	2024	千葉氏をめぐる水との関係を多くの人々に理解していただいた。	千葉氏に関する展示は別テーマで実施予定。
	千葉県立中央博物館	千葉の伝統的工芸品「萬祝染」を体験しよう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	千葉県指定の伝統的工芸品の鴨川萬祝染の鈴染を講師に迎え、職人と一緒に万祝製作行程の色差しの体験を行った。	鴨川萬祝染鈴染	2024	2024	材料費として1,650円が必要であったが、募集定員いっぱいでの開催となった。職人の厚意で当初の告知した図柄より多くの図柄が用意され、また試着用万祝を着用して記念撮影を行い、好評であった。	期間展示に係る関連事業のため、令和7年度は予定なし。
	千葉県立現代産業科学館	プラネタリウム上映会	j.その他	直径23mのドームスクリーンと勾配30度の階段状観客席をもつサイエンスドームを活用し、夏季にプラネタリウム上映会を実施。光学式投影機にデジタル投影システムを融合させた最新鋭メガスターフュージョン投影機で、大規模で高精細の星空のきらめきを再現させ、毎年多くの集客を得ている。なお、会期中の2日間は、プラネタリウムクリエーターによる解説会を開催。	委託業者	2006		例年同様、上映会は好評であった。特に上映解説会では、制作秘話や撮影の様子などの話を聞くことができ、来館者の満足度は高かった。全期間を通して、各回ともたくさんのお客様にご利用いただくことができた。	7年度は新作コンテンツを制作し上映する。上映会プログラムは新作と旧作を交互に組み入れたものとし、会期中にプラネタリウムクリエーターの解説会を2日入れ、来場者の期待に沿った上映会とする。あわせて座席予約システム等を導入し、入場者の安全・安心を考慮した会場を提供する。
	浦安市郷土博物館	館外体験	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	身近な自然に触れることで浦安の環境を考える「観察会」、浦安の伝統的な木造船を使用して実施する「境川乗船体験」を実施する。	浦安水辺の会・浦安野鳥の会・浦安細川流投網保存会			干潟観察会・街路樹観察会・野鳥観察会・境川乗船体験を実施し、三番瀬や市内の自然・環境について学び考える機会を提供することができた。	令和「6年度に引き続き事業を実施し、浦安の自然に触れる機会を提供していく。
東葛飾	関宿城博物館	パネル展「利根川の風景」	f.作品の公募・展示	関宿城博物館の東を流れる利根川は、日本で2番目に長く、流域面積は日本一の川である。また、利根川は群馬県の大水上山に降る雨雪を水源とし、千葉県銚子市沖の太平洋に流れる322kmの大河である。この大河は、自然豊かで様々な環境を持ち、上流、中流、下流とそれぞれ異なる環境を持つ。本展示では、この大河が生み出した風景を紹介し、身近な河川についてさらに関心を高めるきっかけとする。	千葉県立関宿城博物館友の会	2024	2024	アンケート結果では全体の約9割が「非常に良かった」「良かった」といった好意的な感想だった。川の景色のみならず、生物の展示も行った結果、単調な展示にならず、生物に対しても関心を高めることができた。展示室に川の音や川の映像を流すといった工夫があってもよかった。	
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	f.作品の公募・展示	定期的な千葉県の刀鍛冶の作品の展示				作品数が少ないため、展示の機会も少ない	これからも定期的に展示していく。
	館山市立博物館	常設展「房総半島の海と生活」	f.作品の公募・展示	館山市立博物館分館にて、重要有形民俗文化財の「房総半島の漁撈用具」や県有形民俗文化財の「房総半島の万祝及び製作関連資料」を中心に房総の漁業に関わる文化や漁民の生活を紹介している。常設展示「房総半島の海と生活」。	観光みなと課	2009		入館料が無料で気軽に見学できることもあり、観光客を中心に多くの来館者が展示を見学し、房総の漁業に関わる文化に触れることとなった。人員や展示スペースの縮小に伴い、展示資料の変化が乏しいことが課題である。	テーマ展として「安房の船大工」を開催し、安房地域を中心に収集された船大工に関する資料を展示し、失われつつある船作りの技術を紹介する。
	鴨川シーワールド	千葉県民の日「マダイの放流」	a.イベント(不特定多数が参加)	「千葉県民の日」を記念して千葉県の魚「タイ(マダイ)」の幼魚の放流を行う。	公益財団法人 千葉県水産振興公社	1989		これまでは自前で放流用のマダイを準備していたが2023年以降は公益財団法人 千葉県水産振興公社より提供していただいている。	実施予定
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	資料館講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	中世山城や川廻しなど関わりがある場所や、地域的な特徴のある景観や遺構、伝統的な技術の見られる場所などを訪れて学ぶ講座や、指定・登録などの文化財に関する講座や見学会を行っている。		1979		当館の建つ久留里城や県の登録文化財となった市内の寺社建築を見学する講座や、重要文化財「長板中形」の出張講座を実施した。いずれも好評だが、見学会の一般参加者の一部固定が見られる。協力者と作成資料を通じて情報を地域に還元できた。	令和7年度も引き続き実施予定である。
	市原歴史博物館	フィールドミュージアム事業	a.イベント(不特定多数が参加)	市原市内に点在する歴史遺産を屋外展示物と見立て、見学環境整備を進めるとともに、フィールドワークを開催し活用を図る。		2020		市内4地区において見学環境の整備を進め、市民活動団体等と連携してフィールドワークを開催したが、活用面が足りていない。	令和7年度も引き続き、市内4地区において標柱設置やマップ製作など見学環境の整備を行うとともに、企画展等と連動したフィールドワークを開催する。

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	ハイ！チーズ！ポーズを決めて彫刻を作ろう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	筑波大学と連携し、彫刻制作のモデリングの技法で針金の心棒を使用して、人または動物の彫刻を作る。出来上がった作品は持ち帰るには大きい ため、3Dプリンタ用のアプリで360度写真撮影し、10センチほどの高さの立体物を後日プリントし、参加者に手渡しする。	大学	2022		3Dプリンタ機器は、大学が所有していたため、今回の体験が実施できた。	
東葛飾	松戸市立博物館	まつどデジタルミュージアムの開設	j.その他	松戸市立博物館と戸定歴史館で所蔵している貴重な資料をデジタルアーカイブ化し、市民の方々に幅広く且つ包括的に資料を公開したデジタルミュージアムを2022年度開設した。松戸の歴史に対して興味、探求心を創出。また、デジタルミュージアムでは、所蔵資料の公開のみならず、こども向けに作成したまつどの歴史紹介ページやデジタルマップの活用により、新たな生活様式の下でも、本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供。		2022		本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供するだけでなく、デジタルアーカイブ化したことにより、資料管理の徹底と効率化に繋がった。	新たに美術資料を加え、資料の保存及び体系化を引き続き実施していく。
九十九里	大網白里市デジタル博物館	3D資料の公開	j.その他	各種ページに3Dでの資料を公開している。		2018		土器や石器を中心に3Dで資料を公開し、多く閲覧されている。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
かずさ・臨海	市原歴史博物館	博学連携事業	j.その他	歴史遺産の保存と活用を図るため、千葉大学デザイン文化計画研究室と連携し、三次元計測データを活用した「触れる展示」資料の製作とミュージアムグッズの開発を行う。	千葉大学	2019	0	3Dプリンターで出力した埴輪を企画展で展示し、ワークショップを開催したほか、ミュージアムグッズを製作・販売し、文化財への理解と愛着を深めることができた。	企画展関連資料の三次元計測を行うとともに、ワークショップの開催やミュージアムグッズの製作・販売を実施予定。